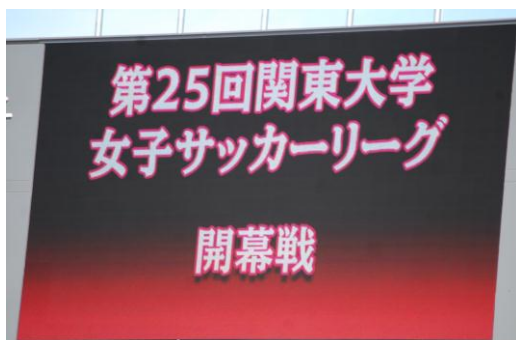


関カレ ついに開幕



開幕戦スターティングメンバー



第25回関東大学女子サッカーリーグ戦、通称“関カレ”が開幕した。開会式は8月28日(日)に“大学サッカーの聖地”と言われる西が丘サッカー場で行われ、よく晴れた青空の下で開会が宣言された。関カレは3部リーグで構成されており、1部リーグは全日本大学女子サッカー選手権大会、通称“インカレ”の予選も兼ねている。1部リーグには8チームが所属しており、このうち上位5チームにインカレ出場権が与えられ、6位には東日本プレーオフへの参加権が与えられる。尚美学園大学は昨年度より1部リーグに参戦しており、昨年度は2勝2敗3分でリーグ6位となり、東日本プレーオフを経てインカレへ初出場を果たした。なかなか勝てず苦しかった昨年度の反省を活かすために練習を重ね、迎えた初戦は8月30日(火)に大宮アルディージャのホームスタジアムであるNACK5スタジアム大宮で昨年関カレ3位の神奈川大学を相手に行われた。気合い十分で試合に臨む尚美。しかし相手はインカレ準優勝の経験もある強豪校。集中力より緊張が勝ってしまった尚美イレブンには隙を突かれなんと開始10分も経たないうちに2点を許してしまう。意地を見せたい尚美はなんとか立て直し、2点を返すものの、勢いに乗った神大を止めることができず、終わってみれば2-5と初戦は手痛い黒星スタートとなった。それでも落ち込んでいる暇はなく、5日後の9月4日(日)には第2節・筑波大学(昨年度4位)との一戦が行われた。お互いに初戦を落としており、チーム力はほぼ互角とあって激しい攻防が予想された。応援団の大きな声援を受けながら、試合は尚美優勢で進んでいく。均衡を破ったのはやはりエースの石淵だった。中盤でボールをつなぎ、前線で待つ石淵にボールが渡ると、最後はGKの位置を見てきっちりゴールへ流し込んだ。前半を1-0で折り返し、後半も尚美が主導権を握り、相手ゴール近くでのプレーが続く。神大戦の反省を活かし、最後まで集中力を切らさなかった尚美はさらに2点を追加し、3-0で貴重な勝利を収めた。リーグ戦を勝ち抜くためには勝ち点だけではなく得点も大きく関わってくる。

そのため無失点での勝利はチームにとって大きな自信となった。この自信を次につなげたい。

関カレ1部リーグ日程

	日にち	時間	対戦相手	場所
第1節	8/30(火)	14:00	神奈川大学	NACK5 スタジアム大宮
第2節	9/4(日)	14:00	筑波大学	筑波大学
第3節	9/11(日)	11:30	早稲田大学	早稲田大学
第4節	9/17(土)	13:00	武蔵丘短期大学	武蔵丘短期大学
第5節	9/23(金)	16:00	関東学園大学	尚美学園大学
第6節	9/25(日)	16:00	慶應義塾大学	尚美学園大学
第7節	10/22(土)	13:00	日本体育大学	日本体育大学



Liga Student 2011 決勝大会終了 総合7位

4月より行われていたLiga Student 2011は、8月24・25日に決勝トーナメント大会が行われた。予選リーグを4位で終え、上位トーナメントに進出した尚美学園大学。初戦はこの大会での優勝経験がある強豪・武蔵丘短期大学となった。Liga Student 優勝を目指す尚美は、直前まで行われていた強化合宿の成果を存分に発揮し、手ごたえはあったものの個人のテクニックで上回る武蔵丘短大に2失点を与えてしまい0-2で初戦を落としてしまう。続く相手は山梨大学。関カレ2部リーグの所属とはいえ個々のレベルは高く、攻撃的なチームだ。尚美は前半の早いうちに先制。その後も果敢にゴールを攻めるがなかなか追加点が決めきれない。連携もいま一つ結びつかず修正できないまま、後半は相手の勢いに押され2-3の逆転負けを喫



てしまう。この結果7・8位決定戦に進むこととなった。対戦チームは、関カレ初戦の相手である神奈川大学となった。選手の育成を目的のひとつとしているこの大会では、部員数の多いチームはサブメンバーを主として使うチームも多い。尚美と神奈川大学も例外ではなく、お互いサブメンバー主体の構成となったが、関カレ開幕戦に弾みをつけるために絶対に負けられない思いが渦巻く。何としても先制点をあげたい尚美は相手陣地でのプレーを心掛け、積極的なディフェンスでボールを奪うと立て続けに2得点することに成功する。流れは完全に尚美にあるまま、後半もほとんど相手にボールを触らせないままさらに2点をあげ、4-0と快勝することができた。2連敗を喫したものの、大会最終戦を勝利で終えたことで良い締めくくりとなった。普段公式戦に出られないメンバーがこの大会で得た経験を無駄にせず、チーム力を底上げしながら関カレへとつなげていきたい。

ちなみに・・・
優勝は幕張総合高校。
高校チームの優勝は大会初！



編集後記

ついに私にとって最後の関カレが始まりました。「日本一になりたい」という意志を持つ先輩に憧れて入部を決めてから約4年。入部当時は2学年26人しかいなかった部員も今は60人近くの大所帯となり、いろいろあったものの最近やっとチームがひとつにまとまってきました。昨年までの、先輩がいたチームが大好きでした。でも、今年のチームも一人ひとり個性が強く、みんなサッカーバカで大好きです。そして4年生は入学から1人も欠けることなく、日本一を目指しています。このチームでインカレへの切符をつかみ取り、夢を叶えたいと思います！志あるところ道ありき！

4年主務 本谷さち



つくばフェスティバル大会報告

8月6～8日、全国の大学女子サッカーチームが集う「つくばフェスティバル」が3日間の日程で筑波大学にて行われた。尚美学園大学は2チーム編成で参加した。“尚美学園大学”は予選リーグを難なく勝ち抜き、上位トーナメントへ進出。関東学園大学低学年チームに勝利し、決勝は西日本の強豪・吉備国際大学とのカードとなった。優勝目指して臨んだものの、チームとしても個としても力の上回る相手に勝てず準優勝で大会を終えた。この借りはインカレで返す。

一方“尚美学園大学ピックス”は予選リーグで関東学園大学低学年チームに敗戦、中位トーナメントへ進んだ。筑波大学モリモリチームにPK戦で競り勝つ。続く中位トーナメント決勝では筑波大学マルマルチームに善戦するが試合終了間際にセットプレーで失点し、こちらも最終戦を勝利で終えることはできなかった。しかし試合内容は悲観するものではなく、収穫の多い遠征となった。